

女性・青少年の収入向上のための職業訓練プロジェクト（第2年次）  
完了報告添付資料 事業内容に関する写真

1. 縫製分野



【室内着作成】

初級コースでは2ヶ月間で、基本的なミシンの操作、採寸、製図、裁断、縫製、アイロン技術等を身につける。各自で比較的難易度の低いラオスの巻きスカートや室内着等を作成した。訓練生は身近な物から作れるようになり自信を持つことができる。



【ボタン・ホールの練習】

ボタン・ホールは服の作成には欠かせないスキルであるが、初級者には容易でない。やり方を忘れないように各自作成したものに名前を刺繍し、教室の壁に掲示した。



【縫製工場見学】

スタディーツアーで郡内にある日系企業の縫製工場を見学した。数百人が分業で日本に輸出するシャツを作成している現場を皆、興味深そうに見ていた。給料や勤務時間、休日などの就労条件等も質問していた。



【紳士服専門家：トーン氏】

地元で紳士服店を営むトーン氏がスラックス等の紳士服を指導した。婦人服に慣れている生徒はいても、多くの生徒が紳士服の経験はなく、熱心に質問し、真剣に取り組んでいた。

## 2. 美容分野



### 【地元美容師：オレイ氏】

郡内で美容院を営むオレイ氏が、シャンプー、パーマ、ヘアカラー、カット、メイク等を指導した。その他、地元での店舗経営や地元の状況なども話してもらい、生徒には有益な情報となった。



### 【マッサージ専門家：ブンスー氏】

理学療法士で、普段は国立リハビリテーションセンターに勤務するブンスー氏がマッサージを指導した。実技だけでなく、理論の指導もあり、口答試問では回答に苦勞している生徒もいた。



### 【小学校訪問】

郡内の小学校を訪問し、小学生にカットのサービスを提供した。カットの練習機会が少ない生徒達であったが、手際よく大勢の小学生をカットしていた。子ども達はカットが終わるとお菓子がもらえるので楽しみに順番待ちをしていた。また美容師という職業への関心も持ったようである。



### 【美容専門家：チュアンピッ氏】

タイで長年、美容師として活躍し職業訓練短大での指導経験もあり、現在も美容学校を経営されているチュアンピッ氏が指導した。美容技術も指導法も優れており、言葉の問題もないため、生徒は多くのことが学ぶことができた。

### 3. 調理分野



#### 【テキストの書き取り】

最初にテキストを渡すとトレーナーの説明を真剣に理解しないので、板書はもちろんだが、テキストの内容もトレーナーが読み上げ、各自で書き取り、自分だけのテキストを作成している。



#### 【ラオス菓子職人：ジェック氏（右端）】

普段は通りで揚げパン等の菓子を製造・販売しているジェック氏が指導した。一見簡単そうに見える生地のおね方や揚げ方であったが、それは職人技であり、生徒は苦勞していた。旨く作れば売れるので生徒は真剣であった。



#### 【お弁当】

調理分野中級コースでは和食の実習で最後に松花堂弁当を作る。単品料理とは異なり全体のバランスを考えながら調理をする練習になる。生徒達は彩りを考えながら盛り付けを工夫していた。



#### 【スタディーツアー：OJTセンター】

4期生のスタディーツアーは各分野別に実施した。上級コースのOJTセンターではコースの説明を受け、その他に資材購入先や卒業生の店等を訪問した。卒業後の自分のキャリアを考えるいい機会になった。

#### 4. その他



##### 【トレーナー養成コース】

このコースはトレーナーとして成人教育についての知識・教授法等を、3週間にわたり習得するもので、修了者にはトレーナーの資格が教育省より与えられる。ナーサイトン訓練所修了生4名がトレーナー資格を授与された。



##### 【軍駐屯地訪問】

郡内に軍の駐屯地が多く、これまでも軍の職員やその家族が生徒として来ていた。潜在的希望者も多く、訪問して生徒募集の広報を依頼した。その結果、多くの生徒数を確保できた。今後も良い協力関係を継続したい。



##### 【アイス・ブレイク】

初級コースの開始当初は、生徒同士が打ち解けていないので、ゲームやアクティビティを授業に取り込み、生徒たちの連帯感を強めていく。それにより生徒のモチベーションが上がり、訓練が円滑に進み、効果的になっていく。



##### 【一般向けフルーツカービング教室】

調理分野に組み込まれているフルーツカービングを、教育課が週末に一般向けに実施した。20名の地元の女性たちが参加し、熱心に野菜や果物を彫っていた。参加者にも大変好評であった。教育課が自主的に事業をしたことは今後の自立に繋がることであり期待できる。

## 5. 活動を通して変わっていく地域



### 【ナーサイトンの村の様子】

村の中心を走る国道しか舗装道路はなく、ほとんどが赤土むき出しの未舗装道路である。その両脇にポツンポツンと民家があり、周りは田んぼに囲まれている。訓練生の多くはこのような環境で生活している。学校を卒業しても働く場所があまりなく、田植えと収穫の時期以外は何もすることがない。



### 【起業した卒業生】

職業訓練校に通って縫製を学び、自分でいろんなものが作れるようになり自信がついた。工場に勤めるのとは違い、オリジナルのデザインを作ることができるので楽しい。自分の工夫次第で収入もあがるのでやりがいがある。また、授業で学んだ会計が、起業してからとても役に立っている。